

－ 議 事 要 録 －

事 項	第2回 多摩ニュータウンまちづくり方針の策定に係る懇談会	
日 時	平成29年10月13日 金曜日 午後3時～午後4時30分	
場 所	南大沢文化会館 第2会議室	
出席者	参加者	西浦定継、饗庭伸、和田光平、神崎龍治、本田秀明、宮城俊弥
	事務局	都市計画部長：守屋和洋、都市総務課長：原清、都市総務課主査：遠藤彰、都市総務課主任：三井直義
資 料	<p>第2回 多摩ニュータウンまちづくり方針の策定に係る懇談会 次第</p> <p>資料1：八王子市多摩ニュータウンまちづくり方針（素案）たたき台</p> <p>資料1-1：第1回懇談会でのご意見について</p> <p>資料2：多摩ニュータウンまちづくり方針の策定に係るワークショップ 開催概要</p>	

会議の内容

議題1：八王子市多摩ニュータウンまちづくり方針（素案）たたき台について

遠藤主査	（「資料1：八王子市多摩ニュータウンまちづくり方針（素案）たたき台」及び「資料1-1：第1回懇談会でのご意見について」に基づき説明）
西浦座長	今回の資料1は3章構成だが、この後に4章として、将来像の実現に向けた具体的な施策が付くはず。4章の内容はいつ頃示されるか。
遠藤主査	次々回を予定している。
饗庭氏	計画区域が気になる。多摩ニュータウン区域外の南陽台等まで広げて考えてはどうか。同じ水系の地域。区域内外にまたがっている町会もあり、居住者から指摘される可能性もある。
遠藤主査	表現を含めて検討する。
饗庭氏	新住宅市街地開発事業区域（以下「新住区域」という。）に注力する方針となっているように感じる。土地区画整理事業区域（以下「区画整理区域」という。）については、あまり記載がないように思う。区画整理区域の方がいきいきとしている。区画整理区域についての記載も入れるべきではないか。
遠藤主査	区画整理区域の方が比較的課題が少ないと考えており、新住区域の課題に関する内容が多くなっている。高齢者の問題、空き家の問題などは区画整理区域を含めて対策を考えていく。また、区画整理区域には学生が多いこともあり、学生の皆様との連携や定住化等については、主に区画整理区域での取り組みになると思う。
饗庭氏	バスサービスの状況は、調査しているか。
遠藤主査	バスについては、昨年度、基礎調査で調査している。また、地域住民から、路線は充実しているが本数が少ないと言われることがある。
饗庭氏	現況整理のところで、バスの路線、本数等がわかる図面があれば、課題がより明確になり、議論もしやすいと思う。また、地域交通計画は策定しているか。バス事業者との連携は取れているのか。
遠藤主査	基礎調査でバスについてまとめているので、今後記載する。昨年度、交通企画課で公共交通計画を策定している。バス事業者とは、交通企画課で接点があり、連携を進めていきたいと考えている。
饗庭氏	資料1 P27以降にあるまちづくり方針（以下「方針」という。）①～⑤は、人口構造のバランスが良くなることを目指しているように見える。高齢者、子どもとその親、学生の居住を促しても、各世代がつながりなく居住している状況であれば、メリットはない。多様な世代が居住し、それぞれにつながりのある状態として、家族の近居が進むことが考えられる。近居が進めば、福祉や子どもに関する社会的コストが低くなる。そう考えると、近居ができる環境というのがひとつのゴールではないか。高齢者、若者世代、子育て世代への対応を個別に考えるのではなく、意味のある繋がりを見出せばよい。
遠藤主査	近居の促進については、コミュニティ方針⑤の部分で、今後記載する。
和田氏	人口統計の分野では、生産年齢人口率、子ども率ではなく、生産年齢人口割合、年少人口割合。世代、という言葉は、人口統計の分野ではコーホートのことで、同じ年に生まれた人の集団のことで、大学生世代という表現も少し違和感があるが、大学生と考えられる年齢の人の集団、と考えれば間違いではない。
遠藤主査	ご指摘のとおり修正する。
和田氏	方針は、子育て世帯から若者世代、高齢者まで、総話的。エネルギーが分散し、インパクト不足。どこに戦略を合わせるか、選択と集中をするべき。住み続けている人を支える守りの戦略か、外から若い人に入ってもらおう攻めの戦略か等、方針をはっきりさせて選択と集中をすべきではないか。また、何年後にどれくらいの完成度とするか等、目標もはっきり出すべき。

和田氏	方針⑦と⑩は、施設のこととインフラのこと、という違いと思うが、内容が重複していると感じる。同じことを繰り返しているように感じられるので、一つにまとめても良いのではないか。
遠藤主査	記載を検討する。
神崎氏	方針①～③を実現させれば、方針④が実現する、という関係に見える。
遠藤主査	記載、表現を検討する。
神崎氏	資料1 P23にある目指すまちの姿2に「みどり豊かなまち」とあるが、対応する方針は、方針⑩に「みどり豊かな都市基盤」と記載があるのみ。もう少し記載すべき。
遠藤主査	記載を検討する。
神崎氏	個別の施策は次々回の懇談会で議論するということだが、スケジュール的に間に合うのか。
遠藤主査	今年中に、「多摩ニュータウンまちづくり方針（素案）」（以下「素案」という。）を策定する。素案では、方針までを記載し、ワークショップで提示する予定である。その後、市で取り組んでいる施策、あるいは今後取り組む施策を記載し、来年度以降、パブリックコメント等行っていく予定で、施策については次々回（来年度）以降の懇談会で意見を頂く予定である。
神崎氏	資料1 P15のデータの出典は何か。
三井主任	2015年の国勢調査の結果。追記する。
西浦座長	4章に記載する具体的な施策を検討すると、方針に立ち返って修正する必要も出てくる。4章の内容については早めに議論を進めるべきではないか。
遠藤主査	承知した。新たな取組み等、どのような形でご提示できるか検討する必要があるが、出来るだけ次回懇談会で提示する。
宮城氏	ニュータウン区域だけではなくもう少し広範囲を対象区域としたほうがよいのではないか。例えば、多摩ニュータウン八王子市域を都心部のベッドタウンとして捉えるのではなく、西側、外側から捉え、イメージを刷新してはどうか。 バス交通については、都の調査も参考にしてはどうか。市間をまたがるバスルートが不十分だと思う。 今後は、多摩ニュータウン通りや南多摩尾根幹線等を活用し、リニア中央新幹線駅から多摩ニュータウンへのバス交通を整備するなど、リニアの完成の影響も考慮すべきではないか。
遠藤主査	広域的な視点としては、東京都の策定した「都市づくりのグランドデザイン」等の整理を参考としている。他市とは引き続き調整・連携を図っていくが、他市まで含めた検討は、市としては難しい。またバス路線については、収益が立つ場所でバス事業者が運行していると思う。
宮城氏	東京都ではイノベーションという言葉を使っているが、方針⑭にも書かれている新たなビジネスの創出は、重要な課題だと思う。
遠藤主査	職住近接や元気な高齢者の活躍できる場を作ることは重要だと考えている。新たなビジネス創出の実現に向けて取り組んでいきたい。
西浦座長	リニア中央新幹線駅が橋本周辺で整備される。ビジネス環境への好影響があると思う。
本田氏	学生等の若年層の団地への入居は、地域や自治会との関わり方等、課題があると考えている。自治会等と協力しながら、取り組みができれば良い。方針⑧は JKK にも関わってくるが、内容が変わる可能性はあるのか。
遠藤主査	近隣センターの活用に関する具体的な部分は、今後色々な団体と接触するなかで、場所を探している団体等あれば相談していきたいと考えている。そういった取り組みを行いながら、方針⑧の内容も精査していくことになると考えている。
饗庭氏	課題をまとめた記載がないので、議論が色々な方向に向いていると思う。課題が共有

遠藤主査	<p>できるよう、課題図等を記載すべき。ニュータウン通りには、ロードサイド型商業立地があるものの、商業施設の状況次第では、今後の土地利用は大きな課題になることも考えられる。また、南多摩尾根幹線沿道の土地利用についても検討しておく必要があるのではないか。</p> <p>課題をまとめた部分を作成する。</p> <p>八王子市域の南多摩尾根幹線沿道の現状の土地利用としては、長池公園とぐりーんうおーく多摩等があり、未利用地はない状況。商業施設の状況は、引き続き注視していく。</p>
饗庭氏	<p>資料1 P18の「多摩ニュータウン八王子市域の将来の広域アクセスイメージ」について、南多摩尾根幹線はニュータウン区域内を通っているはず。正確に描くべき。</p>
遠藤主査	<p>修正する。</p>
和田氏	<p>資料1 P18～P19「将来の展望」に、課題と方策の両方が記載されている。</p> <p>子育て世帯に住んでもらえるよう注力するのもよいが、行政コストの面からは、他の地域で育った子ども達が転入してもらう方が良い。アクティブシニアや40代、50代の消費行動等を利用する方に注力するのもひとつの戦略である。</p> <p>このエリアだけで考えてよいのか、疑問。先行して検討している多摩市のニュータウン再生方針では他市のエリア等についてどのように記載しているか。</p>
西浦座長	<p>他市も視野に入れてはいるが、具体的なプロジェクトとしては多摩市内に限定している。</p>
和田氏	<p>八王子市内の施策を考えていくしかないと思うが、多摩ニュータウン以外の八王子市域から移動させる、ということは施策として考えられるのではないか。</p>
饗庭氏	<p>大学生でも、多摩ニュータウンで育った世代はニュータウンに愛着がある。そういった人にうまくアピールできると良い。また、40代、50代になると、親の介護のことがあり、介護できる住環境を求めるので、そのような世代にアピールできれば居住してもらえる可能性もある。</p>
遠藤主査	<p>南多摩尾根幹線沿道の土地利用も将来を見越しておく必要があるのではないか。現状土地利用も永遠に続くものではない。契約状況や大規模な土地を持つオーナーの意向等ある程度把握しておかなければ、突然土地が空く可能性もあるので、どのような使われ方が良いか、検討しておくべき。</p> <p>市として、第三者どうしの契約内容を把握できないが、引き続き土地利用の動向には常に気を配っていく。</p>
議題2：まちづくり方針策定に係るワークショップの開催について	
遠藤主査	<p>（「資料2：多摩ニュータウンまちづくり方針の策定に係るワークショップ 開催概要」に基づき説明）</p>
西浦座長	<p>ワークショップの開催については、資料のとおりでよろしいか。</p>
饗庭氏	<p>内容は問題ないように思うが、開催日程について、第3回と第4回の間が一週間しかない。第4回に発表するのであれば、学生は大丈夫かもしれないが、他の参加者がついていけるか不安ではある。</p>
西浦座長	<p>ワークショップの開催場所はどこか。</p>
遠藤主査	<p>南大沢文化会館の会場で行う予定。</p>
西浦座長	<p>ワークショップの結果は、第4章の構築にあたって、どこでどのような施策を行っていくか、どのように連携していくか等、記載に反映していくのか。</p>
遠藤主査	<p>その通り考えている。</p>
和田氏	<p>人数の制限があることと思うが、学生も参加意欲があり、是非参加させて欲しい。</p> <p>ワークショップの成果は発表会の開催やシンポジウム等での発表・提案の公開を考え</p>

遠藤主査	<p>ているか。</p> <p>ワークショップでの検討についての発表は、ワークショップ内で行う。その他、方針策定にあたりパブリックコメント等を行う予定で、こういった形になるか未定だが、地域の方に向けた発表・周知の場を設ける検討をしている。</p>
議題3：その他	
原課長	<p>次回 第3回懇談会は、平成30年1月18日午前10時から開催予定。</p> <p>会場は、南大沢保健福祉センターの研修室を予定。</p>
以上 閉会（午後4時30分）	